



村民参加の森づくり

～夏の地ならし体験報告と植樹会のお知らせ～



50周年を契機に始まった村民参加の森づくりでは、「夏の地ならし体験」を8月25日に母島、9月8日に父島で行いました。

母島では予定地を5mごとに区切り、区画内の植物を調べマップ化し、最後に1つにつなぎ合わせました。また、皆さんとの話し合いの中で、看板の設置や学校授業での利用など、多くの人に知ってもらい活用できるとよい、といった意見が出されるとともに、森の名前を「母島の森」としました。

父島では近自然工法による階段づくりを行いました。初級、中級、上級の班に分かれ、どうやったら歩きやすいかをイメージしながら、アカギ材で階段の枠を作り、そこに石を詰めたり、ウッドチップを撒いて、素敵な階段ができあがりました。

森からもたらされる様々な恩恵を受けるためには、人が手入れをすることが「森への恩返し」になります。そして、いよいよ次回は、オガサワラグワ(母島では在来樹木含む)の植樹を行います。親子での参加も歓迎です。参加記念グッズもご用意しています。作業しやすい服装でお越しください。

みなさまのご参加をお待ちしております。



階段作り風景(父島)



出来上がった階段(父島)



話し合いの様子(母島)



出来上がった植物マップ(母島)

母島の森 植樹記念講演会

同プロジェクトのアドバイザーである東京農業大学の田中教授による講演会を開催します。

- 日時 11月9日(金) 午後7時から8時30分まで
- 場所 母島村民会館 体育室
- 内容 衰退する在来樹と在来林の再生

母島の森 植樹会

- 日程 11月11日(日)
- 集合時間 午前9時30分(正午解散予定)
- 集合場所 沖港船客待合所前駐車場
- 作業場所 母島静沢の村有地(遊歩道)

オガグワの森 植樹会

- 日程 12月9日(日)
- 集合時間 午前9時30分(お昼の12時30分解散予定)
- 集合場所 村役場駐車場
- 作業場所 父島長谷の村有地(林内)

申込み・問合せ先 小笠原村環境課 2-3111



50周年イベントインフォメーション

三社合同神輿渡御祭

父母文化交流会

小笠原の歴史上初！ 現存する島内3基の御神輿(父島2基(大神山神社、小笠原神社))・母島1基(月ヶ岡神社)が一堂に会し、返還50周年のお祝いに花を添えるべく一夜限りの大パレードを実施いたします。本渡御祭は神輿文化を通じて、父母間の交流を更に図るとともに、次世代への大切な文化の継承を目指していきます。

【日時】

11月11日(日) 出港翌日

- 15:00 記念品配布:船客待合所
- 15:30 集合 式典開始:船客待合所
- 16:00 担ぎ出し(予定)～出発(船客待合所)
↓ポニン通り
- 17:00～17:30 休憩(ラドフォード前)
↓ポニン通り
- 18:00～18:30 休憩(お祭り広場)
↓湾岸通り※**車両全面通行止**
- 20:00 到着(船客待合所)～終了(予定)



【車両全面通行止めのお知らせ】

神輿巡行に伴い、都道240号線Bしっぷ前から生協前交差点は車両全面通行止めとなります。大変ご迷惑をおかけいたしますがご協力をお願いいたします。

《通行止め期間》 11月11日(日)18時～20時頃

※神輿の進行状況により時間が前後する場合がございます。ご了承下さい。

【記念品配布】

数量限定の記念品配布は船客待合所で15:00より予定しています。ご希望の方はお早めにご来場ください。

【参加資格】

どなたでも参加できます。
(事前申込などは必要ありません)

【お問い合わせ先】

父母文化交流会 担当:小森谷 090-2499-3026
小川 090-7832-7085



50周年イベントレポート

Bonin Bon-Odori Festa~竹芝で50周年だよ!全員集合!!~

50周年事務局
9/29 竹芝客船ターミナル

小笠原の返還50周年を記念したイベントは数あれど、内地でお祝いするイベントが何かできないか、というところから始まり、「お祝いイコール祭り、祭りイコール盆踊り、小笠原の夏の代名詞とも言える盆踊りを内地でやろう。内地でやるなら小笠原の玄関口である竹芝で!タイトルも'Bonin Bon-Odori Festa ~竹芝で50周年だよ!全員集合!!」に決まり、初の試みである内地での盆踊り開催に向け準備が始まりました。

開催直前には台風接近に伴う荒天が予想され、開催が危ぶまれましたが、小雨の中無事スタート! オープニングにはボニレンジャー集団(!?)が登場!盆踊りのやぐらステージでかっこいいダンスで盛り上げてくれました。ステージイベントはIsland JazzでおなじみのRicky with FSPの熱いライブで盛り上がり、okeiさん、松永希さんお二人による小笠原古謡のステージでは、お客さんが曲に合わせて南洋踊りやフラを踊ったりする姿も。

内地在住の島っ子たちによる「わたしたちの小笠原」コーナーでは、小笠原での暮らしや人々の歩みをクイズ形式で紹介。10問のクイズはなかなか難しかったようです。

3Dで小笠原の大自然を楽しめる3D映像の展示や、アカギの木工作体験・箸作り教室などもありました。

オガバル・オガマルシェと銘打ったグルメ・グッズコーナーでは、かつて小笠原で腕を振っていた名シェフたちによるフード販売や小笠原の農産品や水産加工品など、小笠原ならではの味が集結。島バナナのたたき売りは特に人気であつという間に売切れてしまいました。

日も沈み提灯に灯りが灯る頃、盆踊り練習会を経ていよいよ盆踊りの始まりです!炭坑節、東京音頭、動物音頭、1+1の音頭、マッコウ音頭、母島音頭、小笠原音頭。小笠原の盆踊りではおなじみのナンバーで踊ります。マッコウ音頭の歌唱担当・鈴木勝美さんの生歌コーナーあり、休憩タイムには小笠原との生中継で大平京子さんの出演も。雨は降ったり止んだりでしたが、最後は幾重もの輪になり、最後にはアンコールの声もかかって、小笠原音頭で大団円!! 少し肌寒い秋の竹芝栈橋がまるで夏の小笠原になったような盛り上がりの中、一夜限りの宴は幕を閉じました。



文化歴史交流祭

10/7 父島大神山公園お祭り広場 10/8 母島脇浜なぎさ公園

小笠原の郷土芸能の歴史を辿り、交流を深めるイベント「文化歴史交流祭」を開催しました。南洋踊り、太鼓、フラ、スティールパンのそれぞれのルーツとなる場所や、ルーツを共にする地域からゲストをお招きし、ワークショップや体験会を通じて交流を深めました。南洋踊りは「ウドロ」とよく似た「ウワトロフィ」が伝わり今も踊り継がれている沖縄県うるま市栄野比(えのび)地区から「島民ダンス保存会」、太鼓はルーツである「八丈島民謡保存会」所属の「よされ会」「月曜会」の有志の皆さんを、フラはルーツであるハワイから「ハーラウ・オ・キア」、スティールパンは15年前より島でスティールパン指導にあたる伊澤陽一氏率いる「ワイワイスティールバンド」をお迎えし、それぞれのステージや、コラボステージで観客を魅了しました。



オープニングは父島のみでしたが、子供たちによるダンスで華々しくスタートし、フィナーレは父島では小笠原古謡の「丸木舟」を、母島では「母島音頭」をセッションし、大いに盛り上がりました。

ゲスト：島民ダンス保存会 八丈島民謡保存会、
ハーラウ・オ・キア ワイワイスティールバンド
島内：南洋踊り保存会 小笠原太鼓同好会 八星流太鼓
ぼにん囃子 太鼓会 プア・ナニ・オ・マクア
ナア・マカナ・ノ・マクアヒネ
ボニン・スティール・オーケストラ Loco Pan
ボニリズム



小笠原の明日を考えるシンポジウム

10/21 父島:海上自衛隊父島基地分遣隊体育館
母島:支所会議室 竹芝:小笠原村東京連絡事務所

「ふるさと」への思いと未来を考える」をテーマに父島、母島、竹芝(東京連絡事務所)を村のテレビ会議システムでつないだ「小笠原の明日を考えるシンポジウム」を開催しました。

小笠原高校の生徒さんたちに協力いただき、司会進行役やパネリストとして活躍してもらいました。「第一部～「ふるさと」の歩みを知る～」では返還前、返還当時を知る方々にご登場いただき、司会進行役の高校生が父島や母島の当時の様子を伺いました。「第二部～「ふるさと」を将来に受け継いでいくために～」では、小笠原高校の5名が小笠原の魅力などについて、それぞれ描いた絵を紹介しながらパネルディスカッションを。

また、内地で活躍する島っ子からのインタビューの紹介などがありました。竹芝からも内地の高校や大学に通う島っ子たちが登場し、コメントなどで協力していただきました。

また、小笠原の魅力を形にしようと、来場されたみなさまにもご協力いただき、それぞれ魅力を書いたカードを貼り付けて小笠原の魅力がいっぱい詰まったパネルを完成させました。



「おいし～ま小笠原」現在選考中!

かねてより募集をしておりました「おいし～ま小笠原」のレシピコンテスト、美味しいレシピが集まりまして、現在選考中です。準備が整い次第、島民のみなさまによる人気投票を行いますので、ぜひお楽しみに!

■料理部門 ■スイーツ部門 ■ドリンク部門

最優秀作品:賞金5万円 (各部門1作品)

優秀作品:賞金3万円 (各部門2作品)

今後の50周年記念事業

■50周年記念剣道大会 12月15日 父島で開催
実施団体:小笠原剣道親睦会

■父母スポーツ交流大会 12月15日 父島で開催
実施団体:小笠原村体育協会

■中吉丸歴史継承・交流事業 実施時期調整中
実施団体:中吉丸歴史継承交流事業実行委員会

好評発売中! OGASAWARA 50 COLORS / オリジナル手ぬぐい

■OGASAWARA 50 COLORS アクリル絵の具セット 好評発売中

特設サイトにてご購入いただけます。 <https://50colors.anniv-ogasawara.gr.jp>

《特別箱》20,000円
丸型特製3段箱入り
限定50箱



《通常箱》12,500円 限定200箱

50種類のモチーフを描いた返還50周年オリジナルの手ぬぐい「小笠原50選」をつくりました。OGASAWARA 50 COLORSとコラボした、ボンブルーとパッションフルーツの2色。父島では小笠原村観光協会、母島では母島観光協会でご好評販売中です。

■名称 オリジナル手ぬぐい「小笠原50選」

■デザイン アライケイコ

■価格 1枚1,000円

■色 2色(ボンブルー パッションフルーツ)

ボンブルーは在庫希少です。無くなり次第販売終了となります。

